

第7回東京都議会議員調査 津田塾大学中條研究室

津田塾大学総合政策学部・中條研究室2年セミナー（9人）では、2018年より毎秋、都議会議員の皆さまの議員としての活動の様子や社会に対するご意見をお伺いしており、この度、7回目の調査を実施いたします。過去の調査におきましては、お忙しいところ多くの方にご協力いただき改めて感謝申し上げます。研究成果は下記ウェブサイトに記載されております。

本調査は教育・研究目的で実施いたします。分析の都合上、お名前をご記入の上でのご回答をお願いいたしますが、皆さまのご氏名と回答内容を紐づけての一般公表はいたしません。研究上の発表におきましても、皆さまの不利益にならないように細心の注意を払うことをお約束いたします。研究成果は、2024年度末に下記ウェブサイトにて公表予定です。

ご多忙のところお手数をおかけしますこと大変恐縮に存じますが、**2024年10月18日（金）**頃までにご回答いただけましたら幸いです。調査へのご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

研究代表:津田塾大学総合政策学部 准教授 中條美和

<https://whogoverns.tsuda.ac.jp/sophomore>

回答方法は2通りございます。

- A. この調査票に直接回答を記入いただき、同封の返信用封筒にて郵送
B. 右記のQRコードを読み取る、もしくは下記URLにアクセスしていただき、ウェブサイト上で回答を入力

https://tsudacps.qualtrics.com/jfe/form/SV_afasv2N4tqS4EiG



⇐こちら
から回答
いただけ
ます

氏名

Ⅰ.東京都政や政策についてお聞きします。

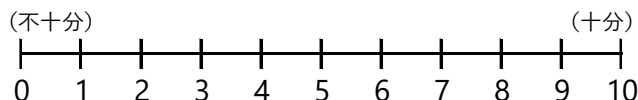
Q1. 現在の東京都知事の仕事ぶりについて、0（全くやっていない）から10（とてもよくやっている）とするとあなたの評価は何点でしょうか。最も近い数字をお答えください。



Q2. ご自身が携わったか否かにかかわらず、これまで最も効果があった、東京都が大きく変わった、と思う政策を強いて言えば1つお教えてください。

(回答)

Q3a. 現在、東京都が行っている防災対策は総合的に見て十分だと思いますか。0（不十分）から10（十分）とするとあなたの評価は何点でしょうか。最も近い数字をお答えください。



Q3b. Q3a で不十分であるとお答えの方は、不十分であると感じる点をお教えてください。

(回答)

Q4. カーボンニュートラルに向けたエネルギー転換についての経済や産業の影響そして現状の技術を踏まえると、東京都におけるカーボンハーフとカーボンニュートラル達成の現実的な目標年はいつ頃とお考えでしょうか。

カーボンハーフ

_____年頃

カーボンニュートラル

_____年頃

1. 制度の強化・拡充を通して、積極的に介入する
2. 補助金や技術支援で促すが、積極的介入は避ける
3. 市場に任せ、積極的介入は避ける
4. その他（

1. 子育て支援の拡充によって、育児前世代への支援につなげる
2. 育児前世代への支援は、子育て支援とは別に行う必要がある
3. その他（

(不十分) (十分)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1. 連携できている
2. どちらかと言えば連携できている
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば連携できていない
5. 連携できていない

19.島しょにおける個性と魅力あふれる地域づくり

Q10a. 地方議会において、首長は再議請求権や予算提案権などを与えられており、強い権限を持っているとされています。あなたが思う、現在の都議会における、都知事と議員のパワーバランス（割合）を教えてください。（5：5のように合計が10になるようにご回答ください。）

都知事：都議会

_____：

Q10b. Q10a の補足があれば教えてください。
（回答）

Q11. 異なる政治立場を表すとき、「保守」と「リベラル」、あるいは「右派」と「左派」などと表現することがあります。最も右派・保守的な立場を10、最も左派・リベラルな立場を0とした場合、あなたの政治的立場に最も近い数字をお答えください。（時系列分析に必要なため、例年同じ質問となっています。）



Ⅱ. 政治活動や選挙活動についてお聞きます。

Q12a. あなたは「政治家としての姿勢」を身につけるために、どのように学びましたか。あてはまるものを全てお選びください。

- | | | |
|------------|---------------|------------|
| 1. 政治塾で学んだ | 3. 大学・大学院で学んだ | 5. 親族から学んだ |
| 2. 独学 | 4. 政党内で学んだ | 6. その他 |

Q12b. Q12a の補足があれば教えてください。
（回答）

Q13. ご自身が何歳の時に、政治家になることを志しましたか、もしくは立候補を決意しましたか。

（回答）

Q14. ご親族に、政治家または政治家だった方はいらっしゃいますか。

（回答）

Q15. 政治家になることを志したきっかけは何でしょうか。特に強い動機となったと思われるものを 1つお選びください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 学校や研修などで生じた問題意識 | 4. 政治家（親族以外）の姿をみて |
| 2. 日常で感じた問題意識 | 5. 他者からの働きかけ・依頼 |
| 3. 政治家である親族の姿をみて | 6. その他（ _____ ） |

Q16. ご自身のこれまでの生活の中で議員活動に最も影響を与えた経験や出来事をお教えてください。

（回答）

Q17. 選挙活動において、あなたはご家族からどのような支援を受けていますか。あてはまるものを全てお選びください。

- | |
|---|
| 1. 「家族」として選挙活動（挨拶など） |
| 2. 選挙・事務所スタッフとして活動・手伝い（事務所詰め、ビラ配布、運転など） |
| 3. 家事・育児・介護など生活上の負担をいつも以上に負担 |
| 4. いつも以上に健康管理などのケア・心配り |
| 5. 選挙期間中、特に支援は受けていない（いつも通り） |
| 6. その他（ _____ ） |

(インターネット) (それ以外)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1. SNS 担当スタッフがいる
2. SNS 担当スタッフはいるが、部分的に依頼している
3. SNS 担当スタッフはいない
4. SNS はしていない
5. その他（ ）

1. 進めるべき
2. どちらかと言えば進めるべき
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば進める必要はない
5. 進める必要はない

1. いつも信頼している
2. 大体信頼している
3. 時々は信頼している
4. 全く信頼していない

津田塾大学総合政策学部 准教授 中條美和・2 年セミナー学生一同
151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24
TEL: 050-3605-0083(直通) FAX: 03-6734-0780(直通)
Mail: mnakajo@tsuda.ac.jp
Website: <https://whogoverns.tsuda.ac.jp/sophomore>

